

大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議 議事録

日 時 : 平成16年6月12日(土)13時30分～15時30分

場 所 : 総合会館7階第3研修室

出席者 : 委員 別紙出席表のとおり

事務局 商工課 平林課長、永田副参事、駒田勤労観光係長、中本主幹、待井

1. 委員の変更について

事務局 平林課長説明

企業代表坂本委員(味の素㈱)が退任のため、長田委員(昭和四日市石油㈱)が就任

2. 資料説明

事務局 駒田係長説明(大四日市まつり及び主な地域の祭り概要:待井説明)

3. 今回の論点

○地域性を生かした祭りを目的・特徴とするべきか、

それとも市民参加のイベントを祭りの目的・特徴とするべきか？

○集客を目的とした観光的祭りを目的・特徴とするべきか、

それとも市民が参加して楽しむイベントを祭りの目的・特徴とするべきか？

4. 各委員意見交換

行事内容

- 東京の新規団地等の祭りに一過性のものが多いのは、単に市民参加型の祭りではなく、伝統行事でないため、次の世代につながらないからである。
- 地域の祭りを取り込むには、地域の人がいかに考えているかが問題。
- 山車側としては、夏の祭りはイベント、秋の祭りは諏訪神社への奉納という位置付けである。四山文協としては夏の祭りにも従来どおり参加させていただきたいと考えている。
- 他地区で成功している祭りには、短期間で成長したものも数多くある。成功している祭りのいいところを取り入れたらよい。
- 成功している祭りは、主に市民参加型の祭りである。
- 地域性は残しつつ、市民が参加できる楽しい行事を取り入れていくことが必要。
- 夏の祭りは市民参加型の祭りがふさわしい。
- これ以上地区の祭りを取り入れる必要はない。おどりも、もっとシンプルにして分かりやすくすべき。地区対抗という要素を加えることにより、盛り上がるのではないか。
- 大四日市まつりは今年で41回を迎える伝統ある行事であり、来年から一変するというのは、既参加者の同意も得られないのではないか。
- 若い人に向けて目玉の行事が必要である。
- 総花的なので、行事をシンプルにすべき。(例:おどりフェスタをメイン行事とする等)
- 大四日市まつりの顔である大入道を、祭りの最中にいつでも見られるように陳列等してはどうか。
- 街の飾り付けをしてはどうか。博多祇園山笠は街の飾りにも面白みがある。
- 祭りとはイベントは別物である。イベントは時代の流れに応じて変わるが、祭りは伝統を継承し変わらないものである。1日目はイベント、2日目は伝統行事といったように分けてはどうか。
- 四日市には他の祭りに比べて掛け声や囃子が少なく、観客が祭りに参加しにくい。
- 食の仕掛けも必要。例えば大矢知そうめんもイベント(流しそうめん等)に使えないか。

現在の行事内容(種類別)

秋の四日市祭	大四日市まつり	
	伝統型	市民参加型
大入道	大入道	ドリームパレード
鯨船	鯨船	みんなで楽しもうお祭り広場
岩戸山	岩戸山	リトルおどりフェスタ
甕破り	甕破り	おどりフェスタ
菅公	菅公	市民総踊り
大名行列	大名行列	カッターレース(港まつり)
御諏訪神輿	御諏訪神輿	Kai-kou
富士の巻狩り	—	
諏訪太鼓	諏訪太鼓	
-	日野大念仏	

アクセス

- 会場までのアクセスの問題(くすの木パークの有効活用)を解決すべき。また、企業を集めて会議を行えば、企業として応援するという意見もできるのでは。
- 港まつりへのアクセスが悪い。

開催時期

- 山車としては、夏の祭りはかなり暑く、きつい時期ではある。
- 祭りの時期が夏というだけで、集客は減る。春が良いのではないか。
- 夏は子供たちが夏休みであることから、練習に励むことができるが、春や秋となると練習が減ってしまい参加者が減る。
- 諏訪太鼓も夏休みがあるからこそ集中して練習ができる。太鼓をやっている子供たちは野球等の練習をする代わりに太鼓の練習を行っている。
- 夏、秋両方に大入道ができるのは、期間が近いこともあり、ありがたみが欠ける感はある。

見る側の視点に立って、市民が参加しやすいよう日程等をきめるべき。

- 大四日市まつりの「市民参加」「伝統行事」の区別は、同時期の日程で区分するのではなく、季節など開催時期で分けるべき。

その他

- 企業や学校単位の参加が少ないと感じる。協賛金だけでなく、踊り等に参加してもらうことによって盛り上がる。
- サンパフェスタでは、企業も連を持っていた。協賛金も、そこそこの負担している企業は多い。
- 他の地域の祭りを見ると、それぞれが競い合い、上位チームには商品を出している。
- 諏訪太鼓でも以前コンテストを行ったことがあるが、審査委員の評価の是非や各団体からの不満もあり、現在は行っていない。
- 第1回新祭りとしてネーミングを新たにしてもよいのではないか。
- 博多等成功を収めている祭りのノウハウを聞いて勉強してはどうか。必ず成功するための仕掛けが存在するはず。
- 本会議で検討すべき内容は、大幅な改革等の骨格である。祭りそのものの是非を問うことも必要である。現在の祭りのマイナーチェンジであれば、実行委員会で検討するべき。
- ハード面でも他のまつりに比べて大四日市まつりは少し弱い。音響設備も良いほうが参加者も力が入る。
- 他地域の祭り等に大四日市祭り代表として参加し、大四日市祭りをアピールすることも必要。

5. 質疑

Q > 四日市居住者の流動状況はどうか？

A > 10年以上四日市に居住している人が比較的多い。高度成長期に四日市に引越し、そのまま居住している人も多いと聞いている。

Q > 伝統行事の後継者問題についてはどうか？

A > 現在については祭りになると、自然に帰省してくるため、後継者不足という声は聞いていない。

A > 現在はよいが、次の世代以降への継承について、不安はある。

Q > 地域性とは何か？

A > 「各地区の地域性(祭り)を取り入れる」という地域性と、おどりフェスタのように大四日市まつり音頭にという四日市独自の音楽に合わせて踊るように、「四日市全体を一つの地域としてとらえる」地域性の2種類がある。

6. まとめ

- 「市民参加のイベント」を主体としつつ、「伝統行事」にも披露の場を設ける方向で検討する。「地域のまつり」を意識的に取り込む必要はない。いずれも行事も、市民全体が共通して参加できる祭りを目指すべき。ただし、それぞれの行事は、日または時間帯、もしくは季節で分けることも必要。
- 大四日市まつりのめざす方向は「市民が参加して楽しむイベント」であろう。それが実現した上で、「集客を目的とした観光的祭り」を目指す方策が必要。
- 学校や企業の参加が不可欠。
- 四日市市限定の参加ではなく他地域からも参加できるイベントとする。
- 「伝統行事」(郷土文化財)の見せ方にも、工夫が必要。

< 次回開催日程 >

第3回 7月 3日(土)13時30分

第4回 8月21日(土)13時30分